



2014年度 観光カリスマ講座



■主催

国立大学法人

和歌山大学観光学部
和歌山県

■後援

公益社団法人和歌山県観光連盟
和島興産株式会社

2014年度

観光カリスマ講座

第1回 観光立国の実現と魅力ある観光地域づくり

10月9日(木) (17:50集合) 18:00 ~ 19:30 *休憩10分を含む

会場/フォルテ・ワジマ4階 イベントホール

観光庁観光地域振興部長 吉田 雅彦

観光は観光関係事業者のみならずの農林水産業、運輸業、小売業等といった他分野にも利益をもたらす裾野の広い分野であり、地域経済を活性化させる重要な産業の1つである。政府では、世界に誇る魅力あふれる観光立国の実現に向けて強気に施策を推進すべく、この6月に観光立国推進閣僚会議において、「観光立国実現に向けたアクション・プログラム」を改定したところである。

人口減少・少子高齢化の進展、観光地域の国際間競争の激化、地域に求められているものも変化している、このような中、訪日外国人旅行者をはじめ、国内外から旅行者に来て楽しんでもらえるよう、世界にも通用する魅力ある観光地域づくりを推進し、観光による地域活性化を促進するための取組について紹介する。

第2回 地域とともに歩む都市農業（都市農業の実践と展望）

10月16日(木) (17:50集合) 18:00 ~ 19:30 *休憩10分を含む

会場/フォルテ・ワジマ4階 イベントホール

白石農園・大泉風のがっこう園主 白石 好孝

東京都練馬区大泉町で300年続く農家。農地面積は140アール。そのうち、60アールの畑で約100種類の野菜を生産。市場には出荷せず、自家販売・スーパーとの契約・JA直売所で販売と、地域の小中学校4校の給食に野菜を納品。他の60アールで137家族が利用する農業体験農園「大泉 風のがっこう」を開園。また、ブルーベリーの摘み取り農園を20アール開設。また、練馬大根の生産体験、社会科見学、職場体験などで年間約1,000人の小中学生を受け入れている。

かつては、市場出荷中心の経営だったが、20年前から都市農業ならではの経営を模索してきた。現在は、生産した野菜の全てを直接販売している。

これまでのつたない経験から、都市農業のあり方についてともに考えてみたい。

第3回 ドン・キホーテ観光立国への挑戦

11月13日(木) (17:50集合) 18:00 ~ 19:30 *休憩10分を含む

会場/フォルテ・ワジマ4階 イベントホール

株式会社 ジャパン インバウンド ソリューションズ 代表取締役社長 中村 好明

2020年の東京五輪に向けて、今、日本には、インバウンドの大波が到来している。日本が「観光立国」を実現するために、私たちは何をすればいいのか。まずは、「観光」という概念をきちんと理解し、「地域連携」で、アーバンツーリズムを創り出すことである。ドン・キホーテのビジネスモデルは、インバウンドと非常に親和性が高く、「地域連携」のハブ的要素を持っている。ドン・キホーテは、アーバンツーリズムの先駆者として、インバウンド振興における、異業種間、同業種間、官民間の地域連携の重要性を提唱かつ実践している。インバウンド振興のためのソリューション推進会社としての立ち位置から、マーケットの実態と今後の展望を語る。

本講座は、各地で活躍する「観光カリスマ」や成功モデルと評価されている観光地のキーパーソンを招聘します。観光カリスマのユニークな発想やリーダーシップを発揮しての事業の推進やコンセンサスの形成方法等の実践事例を拝聴するなかで、和歌山県の観光振興と地域再生の方向性を探る上で参考となる「生きた交流の場」とすることをめざします。

第4回 熊野古道に外国人旅行者を呼び込む着地型旅行会社

12月11日(木) (17:50集合) 18:00 ~ 19:30 *休憩10分を含む 会場/フォルテ・ワジマ4階 イベントホール

一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー会長 **多田 稔子**

和歌山県の面積の約22%という市町村合併が田辺市の観光のあり方を変えた。合併前年に世界遺産登録された「熊野古道」のうち、口熊野(旧田辺市)から熊野本宮大社までの60kmが田辺市となったのである。この大きな変化をチャンスにとらえ、世界遺産「熊野」を世界に向けて情報発信していこうという挑戦が始まった。はじめの4年間は情報発信と受入れ地のレベルアップに取り組んだ。国内外のメディア露出の機会が増え、知名度が上がるにつれ、皮肉なことに問題点が明らかになってきた。「熊野は行きにくい」。そこで、5年目に第2種旅行業登録を獲得、着地型旅行業を開始することとなった。旅行業を始めて4年、1億円を売り上げるまでになった。

第5回 カジノを含むIR法案の考え方

1月29日(木) (17:50集合) 18:00 ~ 19:30 *休憩10分を含む 会場/フォルテ・ワジマ4階 イベントホール

大阪商業大学 学長 **谷岡 一郎**

シンガポールやマカオ、ラスベガスなどは、IR(統合型リゾート)を中心として観光の資源とし、経済発展を成し遂げた。カジノを含むIRがいくつかの地域で認められようとしているが、そもそもカジノやIRとは何なのか。という点はあまり知られていない。カジノ設置においては、成功事例のみではなく、失敗例もある。まずはいろいろな事例を解説する。

カジノやIRには、ギャンブル依存症の問題など、負の側面(社会的コスト)がないわけではない。それらへの対応も含めて、法案の基本設計はどうあるべきか、そして観光にどう応用すべきか考える。

第6回 パネルディスカッション 地域振興と観光産業

2月26日(木) (17:50集合) 18:00 ~ 19:30 *休憩10分を含む 会場/フォルテ・ワジマ4階 イベントホール

和歌山大学 観光学部長 **山田 良治** 和歌山大学 観光学部副学部長 **藤田 武弘** (コーディネーター) 和歌山大学観光学部副学部長 **廣岡 裕一**

この観光カリスマ講座を締めくくるとなるパネルディスカッションです。今年度の観光カリスマ講座は「食」と「農」との関係から地域再生を研究する藤田副学部長、観光産業とその法政策を研究する廣岡副学部長が担当しましたが、経済学が専門で、その立場から地域・観光・景観を研究する山田学部長と今回それぞれの領域を中心に担当した両副学部長が今年度の観光カリスマ講座を振り返りディスカッションして、総括いたします。



会 場：フォルテ・ワジマ 4階 イベントホール
〒640-8033 和歌山市本町2-1

定 員：社会人 80名、観光学部学生 70名

講習料：無料



国立大学法人

和歌山大学

wakayama
univ.

<http://www.wakayama-u.ac.jp>

[観光学部教務係] TEL 073-457-8542 FAX 073-457-8540

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。